

11月の主な行事

11月8日(金) 10月分工賃支給日	11月11日(月) ~ 16日(土) 秋のほとほら花市ウィーク
15日(金) 両施設合同避難訓練	16日(土) 土曜利用日
21日(木) 人権擁護研修	22日(金) 社会見学

あぶくま祭にぎわう!



利用者さんと保護者さんがいっしょにコーラス



開会のことばを述べる利用者さん



あいさつする中木理事長



開会式に臨む利用者さんと保護者さん

10月27日、ほとほら授産所とだての郷の利用者、保護者、職員が一堂に会し、5年振りにあぶくま祭を開きました。今回は、コロナウイルス感染症の心配もあり、内部だけのお祭りとして行いました。当日は朝から多くの皆さんに集まっただき、開会式が行われ、開会のことばをほとほら授産所から菅野カツヨさん、だての郷から後藤勝さんが「これからあぶくま祭を始めます」と述べました。続いて、中木理事長、ほとほら授産所保護者会高橋副会長、だての郷保護者会谷津会長の主催者あいさつがあり、5年振りのあぶくま祭をお楽しみくださいとのお話がありました。そのあと、全員でラジオ体操を行い、さっそく第1部ダンスと合唱の発表が始まりました。



ダンスを発表しただての郷の皆さん

初めにだての郷の皆さんがステージにあがり、ダンス教室の佐藤香先生といっしょに BTS のパーミッショントウダンスを踊りました。毎月やっているダンス練習の成果が発表されました。つづいてドラえもんの歌やパブリカなどみんなで大きな声で歌いました。きよしのズンドコ節では保護者の皆さんも一緒に歌っていただき、会場からは大きな拍手をいただきました。



ドラえもんも登場（だての郷の合唱発表から）

ほどはら授産所の発表では、毎週水曜日の朝の会で日頃歌っている楽曲の発表があり、「♪さんぽ」、「♪翼をください」、「♪ああ人生に涙あり」を歌い、最後に保護者の皆さんにも加わっていただき、利用者の佐々木仁志さんのピアノ伴奏で、「♪世界に一つだけの花」を歌いました。こちら大きな拍手をいただきました。



日ごろの歌を披露したほどはら授産所の皆さん



佐藤事務長がギターで伴奏



ほどはら授産所の発表を聞く客席の皆さん（写真奥）



ピアノ伴奏をする佐々木利用者



授産品販売コーナーで花苗を購入する保護者会の皆さん



ニュースポーツコーナーでは多くの皆さんがポッチャやフライングディスクを体験しました



ニュースポーツMVPの皆さんを表彰

閉会式にみんなで「あぶくま福祉会の歌」を歌いました

閉会のことばを述べる利用者さん代表

第2部と3部は同時進行で、スポーツレク大会とほどはら授産所の製品販売会を行いました。スポーツレク大会では、ポッチャの的あてゲーム、輪投げ、フライングディスクのストラックアウトと輪くぐりゲームを行いました。各コーナーとも長蛇の列ができるほど多くの皆さんが体験していました。授産品販売コーナーでは、ほどはら授産所の農耕園芸班の花苗と手工芸班の刺し子布巾やトイレトペーパーの販売を行い、こちらも多くの皆さんにお買い求めいただきました。

祭の閉会式はお昼過ぎに行われ、主催者あいさつとレクスポーツ大会の表彰式があり、各種目のMVPの皆さんに賞品が贈られました。

5年ぶりに開いたあぶくま祭は、好天に恵まれ、皆様のご協力により無事終了しました。

シリーズ 作業班訪問④ 農耕園芸班

作業班の活動の様子をご紹介する作業班訪問、最終回は農耕園芸班の皆さんです。

農耕園芸班の作業は、花苗の育成と苗の販売です。種まきから苗の育成、ポット植え替え、花苗ポットの販売まで一貫して行っています。



花苗の生育に一生懸命に取り組む農耕園芸班の皆さん



ポットの洗浄をする利用者さんたち



ポットに苗を植栽する利用者さんたち



ハウスの中で花苗を育てています

農耕園芸班では、現在、パンジー・ビオラ・つりがねそうの栽培を行っています。

今夏も7月下旬以降、最高気温が35℃を超える猛暑（30℃を超える日）がお彼岸まで続きました。この猛暑により、秋栽培の花苗に大きな影響が生じています。高温による発芽不良・生育不良が見られ、育たないうちに開花する苗や途中で枯死する苗も大変多く、製品価値がない状況となっていましたが、花市ウィークの開催までたどり着くことが出来ました。

このような状況下でも、利用者の皆さんは、熱心に自分の作業に取り組んでおり、暑さ対策として、その日の予想気温にあわせて、長めの休憩時間やこまめに水分の補給、早めに作業を終えるなどの健康管理に努めました。気候変動が激しい自然環境下でも、利用者様が育てた花苗は、丈夫で長持ち！すると思います。
（農耕園芸班担当：松浦幹樹職業指導員）

10月生まれ誕生会開く



誕生月を迎えた大橋治子さんと菅野カツヨさん

10月4日に、10月生まれ利用者さんの誕生会を開きました。今回は、菅野カツヨさんと大橋治子さんが主賓です。午後の仕事を終えた後、食堂休憩室にあつまり、初めにみんなで♪「Happy Birthday」を歌って誕生者を祝いました。続いて中木所長から生まれた年やその月の出来事などを交えて誕生者を紹介し、「誕生日は産んでくれたご両親に感謝する日です。一年に一度、自分の生まれた日を記念する大事な日です。おめでとうございます」とお祝いの言葉がありました。誕生者からは、これからの抱負が述べられ、本田真由美さんが乾杯の発声を行い、みんなでケーキと飲み物をいただき、二人を祝いました。



十三夜の月の出にあわせて「♪月」を歌いました

十三夜のお月見会楽しむ！



十三夜の月をバックにススキと並んで小林さんが乾杯の発声をしてくれました



団子をいただく利用者さんたち

10月15日、先月の中秋の名月お月見会に続いて、十三夜のお月見会を開きました。この日は旧暦9月13日のお月見で、中秋の月だけのお月見では「片見月」と言って昔から縁起が悪く、災いが起こると言い伝えられており、縁起を担ぎ両方見るよう「十三夜のお月見会」を開きました。

中木所長から十三夜のお月見のお話を聞いたあと、利用者の皆さんで十三夜のお月様が上がるのにあわせて「♪月」を歌いました。月が上がったところで、みんなで団子と飲み物をいただき、張り子の十三夜の月を見ながらお月見を楽しみました。

お月見は夜の催しですが、季節の行事を体験していただきたく、帰りの会の前の時間を利用して行いました。利用者の皆さんは週の初めから集いができリラックスして、団子を食べ、楽しく過ごしていました。

利用者さん健康診断受ける！



労働保険センター職員に採血と血圧測定をしてもらう利用者さん
(写真中央)

要な方は病院の受診をお願いします。普段の生活が病気の原因を引き起こしている可能性もあります。この健診結果をきっかけに自身の生活を見直し、健康づくりに心がけてほしいと思います。

10月1日の午後、ほどはら授産所の利用者さんの健康診断を行いました。福島県労働保険センターの皆さんが来てくださり、問診、血圧、採血、身長体重、心電図、医師の診察、胸部レントゲンの各項目の診断を行いました。利用者さんたちは、緊張した面持ちで受診していました。

その結果が、このほど届きました。検査結果を皆様にお渡ししますので、よくご覧になっていただき、要精検（再検査）や治療が必

グループホーム
スクラム便り
11月号

不定期ですが、グループホームスクラムの様子を紹介するコーナーです。今回は中木管理者から引き継いだ鈴木管理者の就任のごあいさつを掲載しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

管理者就任のごあいさつ



グループホームスクラム
管理者 鈴木 信 行

10月1日付けでグループホームスクラムの管理者に就任いたしました、鈴木信行です。これまでグループホームを利用される皆さんが安心して生活を続け、自立に向け頑張ることが出来るよう支援を行って参りました。グループホームは、地域の中で必要な支援を受けながら自立を目指す場です。皆さんの生活の様子をそばで見ると、仲間を思いやり協力することを通して成長し、自ら掃除や洗濯、食事の準備を行い、少しずつ出来ることが増え自信が持てるようになる姿を見てきました。自信と自立心の高まりは次の更なる要望に繋がってゆきます。

今後も利用者さんの「出来る」を増やし「自立」が進むよう、そして、新たな希望をお聞きし地域の中で「一人一人が自分らしく自由な生活」となりますよう支援して参りますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

食育コラム

11月



今年度第3回目の食育コラムです。

11月7日は立冬、暦の上では冬ですが、今は実りの秋のど真ん中。冬に向かう体づくりにぴったりの食べ物のお話と、11/24の和食の日にちなんだお話など、今の時期にタイムリーな話題を宍戸係長さんを書いていただきました。



株式会社メフォス 福島事業部
福島事務所 3課3係
係長 宍戸 和江



実りの秋



秋はお米やイモ類、木の実やきのこ・色んな作物が実時期です。秋の野菜や果物には脂肪分や糖分が多く含まれているため、冬に向けて栄養を蓄えることができます。きのこには、ビタミンや食物繊維が多く含まれ、カラダの調子を整える役割があります。旬の美味しいものをたくさんいただいて、寒い冬に向けて支度をしましょう。



11月24日 (いいにほんしょく)

和食の日 11月24日は「いい日本食」の語呂合わせで『和食の日』に制定されています。

和食が「日本の伝統的な食文化」であること、「世代をこえて受け継がれ、地域の結びつきを強めている」ことから「ユネスコ無形文化遺産」に登録されています。日本の慣習や、式、気候に根付いた食文化の価値が世界的に認められた結果です。ご家庭で食卓を囲み、一緒に語り、食事を摂ることで次世代へ和食文化を継承していくことになるのです。



立冬

季節の変わり目で昼夜の寒暖差が厳しい頃、体調管理をしっかりして冬に備えましょう。

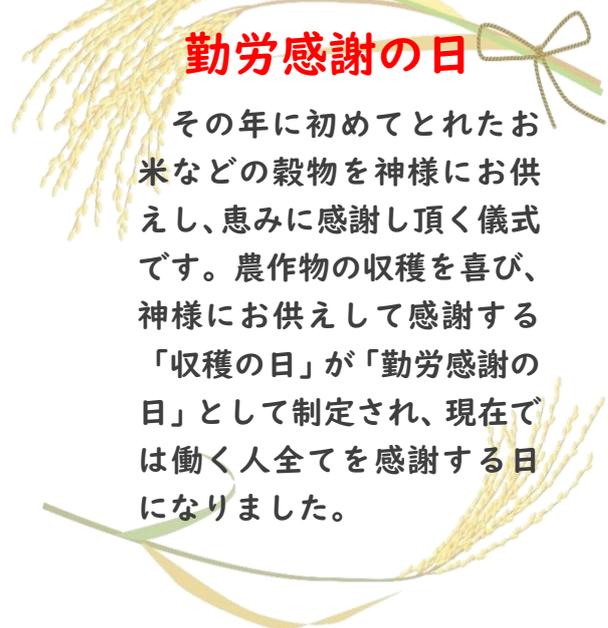
私たちの身体は体温が下がると免疫力も落ちやすくなります。身体の中から温める食材を積極的に取り入れたり、温かい飲み物を摂るなどしてこれからの寒い時期をのりきりましょう。地中で育つものは身体を温めるといわれています。

また、発酵食品は代謝をよくする酵素が含まれているため、身体を温める効果が期待できます。

新嘗祭と

勤労感謝の日

その年に初めてとれたお米などの穀物を神様にお供えし、恵みに感謝し頂く儀式です。農作物の収穫を喜び、神様にお供えして感謝する「収穫の日」が「勤労感謝の日」として制定され、現在では働く人全てを感謝する日になりました。



社会福祉法人あぶくま福祉会の主な出来事や話題を、年間随時お伝えしています。今回は7月以降の主な動きをご紹介します。

本年度後期に向け人事体制再編 理事会評議員会で承認される



9月12日、本年第4回理事会において、熊坂久也業務執行理事の辞任、新たに佐藤典昭ほどはら授産所次長と高橋健二だての郷次長の理事推薦、熊坂だての郷施設長の退任と高橋新施設長の選任、だての郷とほどはら授産所、よつばの補正予算の承認が審議され、いずれも承認又は議決され、一部を除き評議員会に送られました。そして同月29日の本年第3回評議員会にて補正予算、だての郷施設長の退任と選任、新理事2名の選任について審議、原案どおり議決いただきました。

10月1日には本年第5回理事会を開き、業務執行理事選任について審議され、佐藤理事が業務執行理事に選任されました。



10月1日付けで人事異動を行い、下記の職員が、昇任、配置換えになりました。

本部事務長兼ほどはら授産所サービス管理責任者	佐藤典昭
だての郷施設長兼同所サービス管理責任者	高橋健二
ほどはら授産所次長兼スクラム管理者	鈴木信行
ほどはら授産所職業指導員兼スクラムサービス管理責任者	松浦幹樹
だての郷 主任	木村光永
だての郷 生活支援員	木村千賀子
ほどはら授産所 職業指導員	熊坂正俊

業務執行理事就任のごあいさつ



あぶくま福祉会業務執行理事 佐藤典昭

このたび、10月1日の理事会において業務執行理事に任命されました佐藤典昭です。あらためて職責の重さを日ごとに感じております。

私は、当法人ほどはら授産所に就職して以来、利用者の皆さんとともに生産活動の園芸部門に携わって参りました。

私は、「育」という言葉をモットーにしています。利用者が育つ、花を育てる、仲間に育まれるなど「育」は、手をかけて成長を助ける、大切に守って発展させることの意味があります。種をまき、植替えを行い、水や肥料を与え、日々の小さな生長があって自ら花が咲くように、私たちの一步ずつの支援の積み重ねが大切で、利用者皆さんの大きな成長と自立につながると感じています。今後も「そだつ・そだてる・はぐくむ」の思いで、法人の円滑な運営に努めて参りますので、保護者・家族・職員・地域皆様のご協力と、ご支援を賜りますようお願いいたします。

編集後記 / 5年振りのあぶくま祭の様子を特集しました。この日の天候は朝曇り空でしたが、だんだん晴れてきて温かい日和になり、多くの保護者の皆さんにお集まりいただき開催することができました。各施設それぞれ趣向を凝らし、素晴らしい発表ができました。ほどはら授産所の場合、ふだんから就労活動が中心で、なかなか発表のための出し物の練習は難しいのですが、日頃の活動から発表する形で、保護者会の皆さんのご協力いただき、いい発表ができました。ありがとうございます。来年もよろしくお願ひします▼今月号は、話題盛りだくさんで、前号に続き発行が遅れてしまい、申し訳ありませんでした。次号は早くお届けしたいと思ひます▼インフルエンザの季節になりました。早めの接種で罹患防止を (M)